

岩手県雫石町 葛根田地熱発電所における大規模崩壊による被害

かつこんだ

発生場所: 岩手県雫石町 北上川水系葛根田川 葛根田地熱発電所

発生日時: 不明 4月20日 原因不明で発電が停止

4月21日 岩手県より東北地整岩手河川国道事務所に連絡

崩壊の規模 長さ 約200m 幅約100m 深さ約3m 移動土塊量 約60,000m³

被害の状況 葛根田地熱発電所の施設の一部破損(操業停止中)、県道西山生保内線埋塞



被災状況



土砂の押出しにより歪曲した地熱発電施設の配管



今後は現地調査の結果を踏まえ、関係機関とも調整を図りつつ、応急対策を実施

【撮影: 東北地整 岩手河川国道事務所】

岩手県雫石町 葛根田地熱発電所における大規模崩壊への対応

砂防関係部局では発災以降、以下の対応を実施

- 4月21日 東北地整ヘリコプターみちのく号による調査を実施
- 4月22日 治山部局と協同で独立行政法人土木研究所地すべりチーム、本省担当補佐、岩手大学 井良沢准教授による現地調査・ヘリ調査を実施
監視のため東北地方整備局の照明車・Ku-SAT(衛星画像転送装置)を配備 (岩手県及び雫石町へ画像を提供)
- 4月24日 岩手河川国道事務所が盛岡森林管理署と共同で応急対策を実施
～29日 ・浸水防止および排水対策としてシート設置(L=75m、3箇所)
・伸縮計及び移動杭設置
岩手河川国道事務所 対策本部車、衛星通信車を現地に派遣



河道掘削等の応急的な対策を実施するため 4月28日直轄砂防災害関連緊急事業 37百万円を採択



ヘリによる調査(21、22日)

バリケード(岩手県設置)



対策本部車



シート設置

監視カメラ・照明車配備位置



照明車とKu-SAT



土木研究所・本省による現地調査(22日)



森林管理署と共同で実施

表面水排除のためシート設置(24日)